

## 会員のたより・意見

### 琵琶湖のコハクチョウ 三宅 博

Bewick's Swans of Lake Biwako: Hiroshi Miyake

日本最大の面積を誇る湖に、白鳥の飛来がないはずがないと、私は、予々思っておりました。会報により、少数のコハクチョウが飛来していることを知ってはおりましたが、私自身、確かめることもなかったのです。

ところが、今年2月、琵琶湖西岸、滋賀県高島郡新旭町大字饗庭に、白鳥の飛来ありと新聞に報道されました。早速、出向き、そこで、餌づけを試みられている堀野善博氏にお会いしてお話を伺ってまいりました。しかし、56年12月より、観察し始められたところであり、今後のご健闘に期待いたしたく節に願っております。

ここには、数年来、白鳥が飛来しているとのこと。今年、私が参りました時には、コハクチョウの成鳥が10羽、民家がたちならぶ岸から、50m程沖あいにおりました。

この秋に飛来したならば、すぐご一報下さるように堀野氏にお願いして参りましたので皆様にもご報告が出来ますことと思います。

(京都市左京区岩倉中在町長谷町622-102)

### 1981年の年末の中海にて 三宅 博, 三宅豊恵

From Lake Nakaumi at the Eed of 1981: Hiroshi Miyake  
and Toyoe Miyake

12月25日から、中海に私達家族は逗留していた。白鳥の写真を撮ることが目的の私達には、その被写体の数が少ないのを、前もっての電話で、門脇氏より伺っていた。それでも、の思いでやってきた。案の定、白鳥海岸には、岸から離れたところで、六羽だけだった。27日も駄目だった。しかし、28日は違っていた。いや、そうなる筈だった。朝日がとてもきれいな日で、朝霧がかかっていた。白鳥海岸は、皆様よくご存知のように白鳥のねぐらは別にあるので、朝、夜明けとともに、門脇氏の播く餌を求めて、群をなして次々に飛んで来るのが、今までに見られた美しい光景であった。全盛期のころは、シャッターを押すのに急がしく、フィルムの入替えが間に合わぬ程で、今にして思えば嬉しい悲鳴をあげていたものだった。だが、だんだんと、飛来は少なくなり、去年の12月から様子は増々悪くなり、海岸によりつかなくなっていた。今年も一旦11月に飛来したものの、